

令和3年度
山形県立保健医療大学 保健医療学部
学校推薦型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は6ページ、解答用紙は3枚、下書き用紙は1枚です。
試験開始の合図とともに、直ちに問題用紙、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 解答用紙の*欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

1

以下は、昭和 50 年～令和元年までの山形県の移動人口の推移の図である。
図を見て問 1 から問 3 に答えなさい。

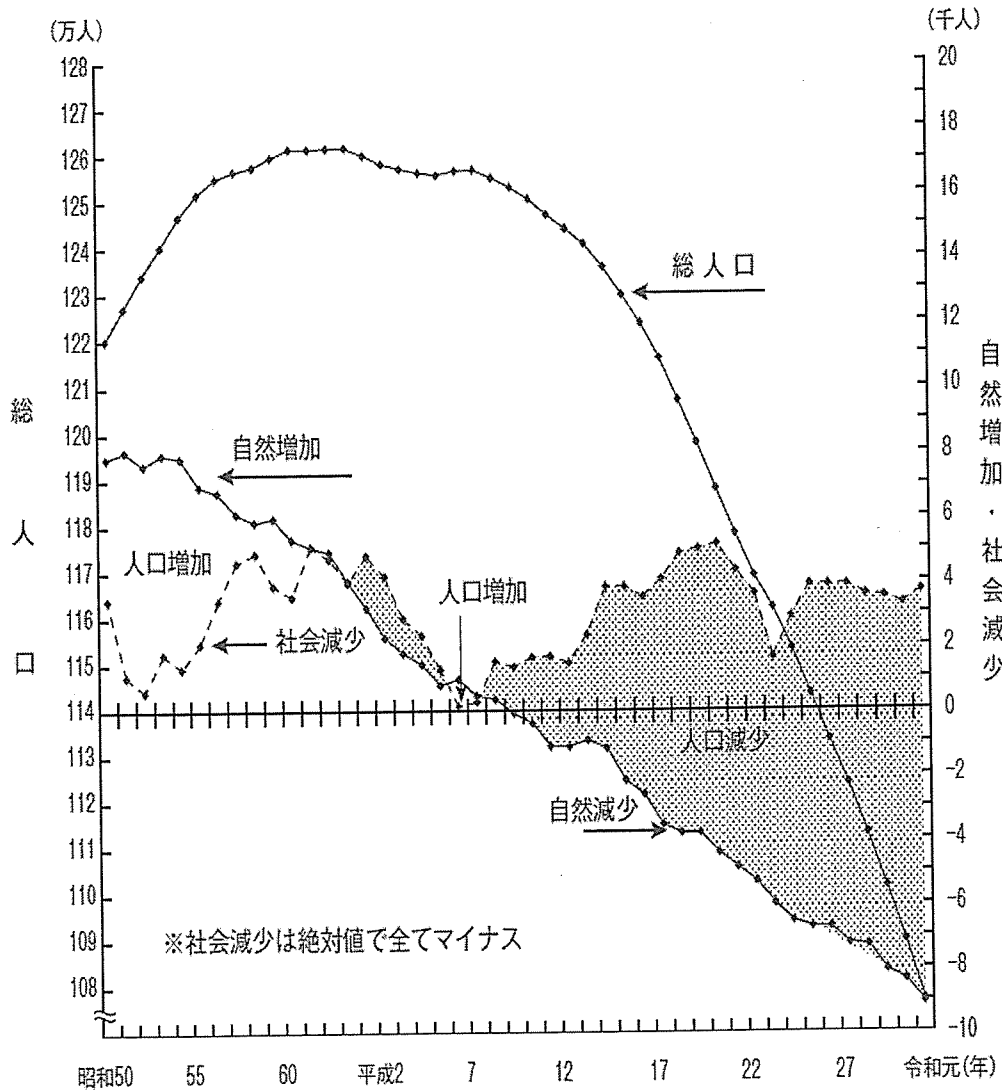


図 山形県の移動人口の推移（昭和 50 年～令和元年）

出典：山形県ホームページ山形県勢要覧（令和 2 年刊）人口・労働

<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/data/youran/publicfolder2/02004076686225764/r02-02.pdf> より引用一部改変

注：社会減少とは、転入と転出の差がマイナスの場合を指す。

問1 グラフが示している客観的事実を200字以内で述べなさい。

問2 平成23年の社会減少が低下している理由について述べなさい。

問3 山形県の移動人口の推移より、人口減少を抑制する対策についてあなたの考えを300字以内で述べなさい。

2 次の文章を読んで問1と問2に答えなさい。

年齢を重ねるごとに、人間はしばしば自分の身体に何らかの変化が起こっていることを感じるようになる。例えば握力や歩行スピードは、20～30歳代を頂点にゆるやかに下降していく。これは一般的に「老化」という言葉で示される、誰もが感じる身体の衰えである。身体の老化は50歳を過ぎると、ほとんどの人が自らはっきりと認識するようになる。

それでは、知的機能（精神機能）の老化はどうだろうか。図1は知能の加齢変化を示したグラフである。①「語彙」は60歳頃まで向上し、その後ゆるやかに低下する。「情報処理速度」「推論」「記憶」は20歳代から低下が始まるが、35歳以降いったんその傾斜は緩徐になる。しかし60歳代を過ぎるとまた著しく低下していく。

よく知られていることだが、高齢者の記憶力の低下は古い記憶は忘れにくい、新しく覚えたものは忘れやすいという特徴がある。幼少時の友人のことはいくらかでも語ることができるが、昨日話した人の名前が思い出せないことなどは、よくある話である。これは病気ではなく健全な老化であり、誰もが通る道である。しかし健全とはいえども、記憶力の低下は高齢者自身がある種の悲しみをもって、ひしひしと感じる老化のひとつである。そして、老化は大多数の人がかつて「できていた」あるいは「保持していた」自分の能力を、少しずつ失っていく喪失体験に他ならない。

一方で老化は思わぬ副産物を生み出すことがある。パーソナリティ—いわゆる人柄の変化である。「調和性」「誠実性」「感情の安定性」などはゆっくりと円熟していく。このような場合、高齢者は年齢を経て、より他者との協調を重んじ他者に誠実に接することができるようになる。あわせて自分の感情をコントロールすることも上手になる。

多くの高齢者は緩やかに起こる自分の変化を「昔はわがままだった」とか「今なら許せるが、あの時はとても許す気持ちになれなかった」など、自身の若い頃を回顧しながら語る。その様子は深い洞察に満ちている。だが、今の自分のパーソナリティが若い頃よりも豊かになったと考える高齢者は少ない。多くの高齢者は自身の老化に戸惑い、加えて目に見える他者の老化を自分にかぶせながら、先の見えない不安の中にいる。

興味深い研究がある。図2のような表情の写真を見せてこの表情が「喜び」「恐怖」「怒り」「嫌悪」「悲しみ」のどれに該当するかを尋ねた実験である。若齢者と高齢者の感度の比較が図3である。②高齢者は快感情である喜びの表情は若齢者とはほぼ同じ感度で認識していたが、他の不快感情の表情の認識はいずれも若齢者のものよりは低かった。高齢者の不快感情の認識の低さを、老化による感度の低下と考えるべきなのか、老化の過程の円熟したパーソナリティにより、不快感情を許容する範囲が広がった成果と捉えるべきなのか、議論は尽きない。

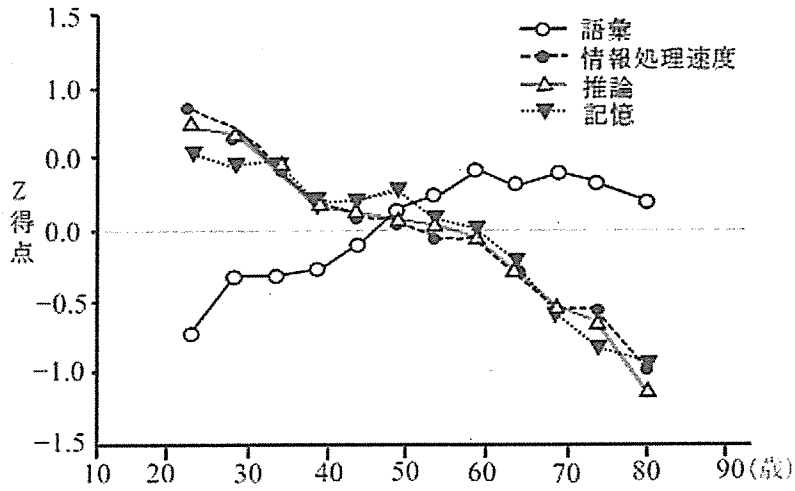


図1 知的機能の加齢による変化

出典 Salthouse, T.A.(2004). What and when of Cognitive aging? Current Directions in Psychological Science, 13, 140-144 上り一部改変

注 Z得点とは個人の得点が全体の平均からどれだけ離れているかを、標準偏差を単位にして示したものである。

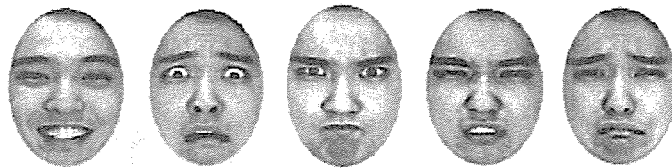


図2

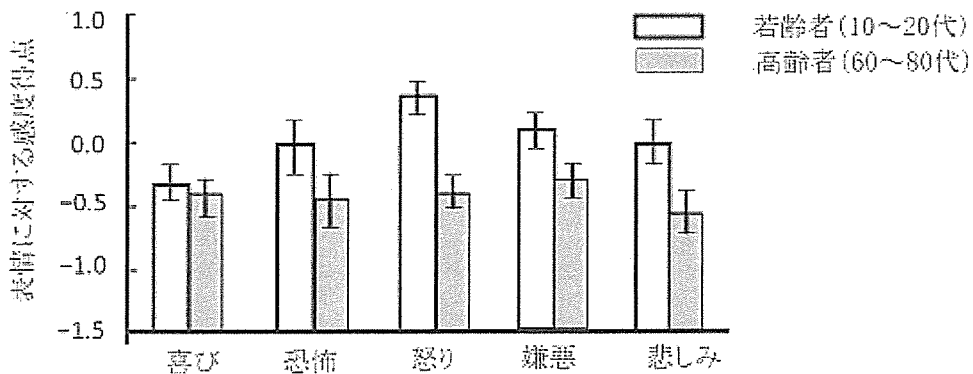


図3 若齢者と高齢者間での表情に対する感度の比較

出典 Suzuki A, et al, 2007 一部改変

問1 下線部①はどのような理由で起こるのか、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

問2 下線部②をふまえて、高齢者に接する時どのような配慮をしたら良いか、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

3

小学1年生がスマートフォンを持つことのメリットとデメリットをふまえながら、あなたの考えを600字以内で述べなさい。